

現 場 説 明 書 (技術的事項)

委託名 福山地区消防組合南消防署瀬戸出張所改築工事に伴う地質調査業務委託

1. 調査業務場所の状況

- ・調査業務場所は、旧福山市立長和保育所敷地内です。
現状、施設の利用はありません。
- ・調査業務場所は、住宅が隣接しています。

2. 留意事項

- ・契約後は速やかに業務計画等を提出し、監督員の承諾を受けてください。
- ・2025年（令和7年）8月上旬までに地質業務調査を実施し、その調査結果を報告してください。
- ・ボーリング位置、試験の内容及び工期については、監督員と協議の上、決定してください。
- ・調査業務場所は、住宅地に隣接しているため、音や埃の出る作業時は、十分な対策を講じてください。
- ・調査に当たっては、第三者への安全に配慮し、施設管理者・監督員と協議の上、必要な安全対策を講じてください。駐車場及び資材置場については監督員の指示に従ってください。なお、施設の鍵の貸与については、事前に監督員と協議してください。

3. 地盤情報の取扱いについて

受注者は、地質・土質調査業務共通仕様書（広島県・令和3年8月）第118条 成果物の提出に基づき、地盤情報を「一般財団法人国土地盤情報センター」の検定を受けた上で、「国土地盤情報データベース」に登録しなければならない。受注者は、地盤情報の公開・利用の可否について、電子納品運用ガイドライン【地質・土質調査編】（国土交通省・平成30年3月）に基づき、事前協議における発注者の指示に従って成果品データに「公開可否コード」を記入した上で、検定の申込を行うこととする。なお、検定に要する費用は、直接経費に「国土地盤情報データベース検定費」として計上し、諸経費率算定の対象額としない。ただし、管理技術者が国土地盤情報センターで定める技術士等の資格又はボーリング責任者が地質調査技士の資格を持っていない場合は設計変更の対象とする。

また、受注者は、電子納品の際に、一般財団法人国土地盤情報センターから受領した検定証明書（PDF ファイル）を電子納品運用ガイドライン【地質・土質調査編】（国土

交通省・平成 30 年 3 月) に規定されている格納フォルダ BORING/OTHRs に格納することをもって、提出する成果が検定済であることを報告することとする。

4. 別途委託業務

- ・ 福山地区消防組合南消防署瀬戸出張所改築工事設計委託

福山市地質調査業務委託特記仕様書

I. 委託概要

1. 委託名称 福山地区消防組合南消防署瀬戸出張所改築工事に伴う地質調査業務委託
2. 委託場所 福山市瀬戸町地内
3. 委託内容(○を適用する)

○ ボーリング ・ 水位測定 ○ サウンディング ○ 標準貫入試験 ・ スウェーデン式貫入試験 ・ 動的円錐貫入試験 ○ 標本用土質採取 ○ 総合考察 ○ 報告書の提出	○ サンプリング及び土質試験 ○ 物理的性質試験 ・ 力学的性質試験 ・ 化学的性質試験 ○ 原位置試験 ・ 現場透水試験 ○ 孔内水平載荷試験 ・ 平板載荷試験
--	--

II. 一般共通事項

1. 図面及び福山市地質調査業務委託特記仕様書(以下「特記仕様書」という。)に記載されていない事項は、全て国土交通大臣官房官庁営繕部監修「敷地調査共通仕様書」(令和4年改定版)による。
2. 設計図書に定められた内容に疑義を生じたり、設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、監督員と協議する。
3. 設計図書に定められた場合及び監督員の指示を受けた場合は、監督員の立会い及び検査を受ける。
4. 調査に当たっては、既存工作物等の保護等に留意し、汚損・破損等を及ぼした場合は、受注者の責任において速やかに復旧する。
5. 調査完了に際しては、仮設物・機器等の除去及び後片付け、清掃を行い、ボーリング孔を閉塞し敷地を原形に復旧する。
6. 調査・試験の途中で、次の場合には速やかに監督員に報告し、その指示を受ける。
 - ・ 想定地盤と著しく異なったり、現場条件の特異性により掘削が困難な場合
 - ・ 予定深度に達しても、数 m 以上にわたり想定支持地盤が確認できない場合
 - ・ 予定深度に達していないが、数 m にわたり支持地盤が確認できた場合
 - ・ 近接する地点での調査・試験で著しく結果が異なる場合
 - ・ その他、この調査目的が達成できないと判断した場合
7. 監督員の指示により、調査・試験の変更を行う場合がある。

III. 特記仕様

項目は、番号に○印のついたものを適用する

特記事項は、○印のついたものを適用する。

◎印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。

○印と⊗印のついた場合は、共に適用する。

① 一般事項

① 作業計画書

- ※ 提出する ・ 提出しない

記載事項

- 調査内容(目的、概要)
- 調査の順序及び方法
- 調査工程表
- 調査組織表(作業の班編成とその内容及び責任者)
- 使用機器の種類、名称、性能(一覧表)
- 仮設計画
- その他必要事項
- ⊗ あらかじめ工程表を作成し、監督員の承諾を受け

② 成果品

- ※ 成果品の所有権は、発注者に属するものとし、発注者の承諾を受けないで使用、貸与又は公表してはならない。

③ 技術者

- ※ 地質調査技師(地質調査に関する知識及び技術の審査・証明事業認定規定(昭和 59 年 3 月 22 日付建設省告示第 654 号)に基づく資格を有するもの)、若しくは同等の能力と経験を有する技術者とする。

② ボーリング

① 1 掘削工法

- ※ ロータリーボーリング ・ 試掘

② ボーリング位置

- ※ 図示 ・

※ 現地でのボーリング位置の決定は、原則として監督員の立会いの上行なうものとし、後日調査位置の確認ができるようにしなければならない。

掘削本数、深さ及び孔径は次の表によるものとする。

掘削位置番号	深さ(m)	孔径(mm)
No.1	17.0m	φ66
No.2	17.0m	φ66
No.3	17.0m	φ66

③ 検尺

- ※ ボーリング延長の検測は、一作業毎に原則として監督員立会いの上、ロッドを挿入して行う。

③ サウンディング

① 標準貫入試験

- ※ 標準貫入試験は、JISA1219(土の標準貫入試験方法)によるほか、次によるものとする。

試験を行う位置

- ※ ボーリング位置に同じ ・

試験深さ

- ※ ボーリング掘削深さに同じ ・

試験間隔

- ※ 地盤面より 1m の深さから 1m 間隔とする。

- ・ 附近の状況から直接基礎が想定される場合は、地盤面から 5m 程度まで 0.5m 間隔とする。

本打ちの打撃数

- ※ 60 回を限度とする。 ・

(2) スウェーデン式貫入試験

- ※ スウェーデン式サウンディング試験は、JISA1221(スウェーデン式サウンディング試験方法)によるものとする。

掘削位置

※ 図示

掘削本数・深さ及び孔径は次の表によるものとする。

掘削位置番号	深さ(m)	備考

(3) 動的円錐貫入試験

※ 鉄研式動的コーン貫入試験(大型)とする。

※ 鉄研式動的コーン貫入試験(大型)は、JISA1219(土の標準貫入試験方法)に準ずる。

掘削位置

※ 図示

掘削本数、深さ及び孔径は次の表によるものとする。

掘削位置番号	深さ(m)	備考

④ 物理的性質試験

1) 土粒子密度試験

※ 試験方法等は、JISA1202(土粒子の密度試験方法)によるものとする。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別

2) 含水比試験

※ 試験方法等は、JISA1202(土粒子の密度試験方法)によるものとする。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深度(m)	サンプリング種別

③ 粒度試験

※ 試験方法等は、JISA1204(土の粒度試験方法)によるものとする。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深度(m)	サンプリング種別
No.1	1	シルトまじり砂	4.5	乱れた資料
No.1	2	砂まじり粘土	7.0	乱れた資料
No.1	3	粘土まじり砂	11.0	乱れた資料

4) 湿潤密度試験

※ 試験方法等は、JISA1225(土の湿潤密度試験方法)によるものとする。

※ 湿潤密度は、乱さない試料を採取し測定する。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深度(m)	サンプリング種別

5) 液性限界試験

※ 試験方法等は、JISA1205(土の液性限界試験方法)によるものとする。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別

6) 塑性限界試験

※ 試験方法等は、JISA1205(土の塑性限界試験方法)によるものとする。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別

(5) 力学的性質試験

1) 一軸圧縮試験

※ 試験方法等は、JISA1216(土の一軸圧縮試験方法)によるものとする。

※ 試料は、1採取箇所につき3個以上の供試体について行う。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別

2) 圧密試験

※ 試験方法等は、JISA1217(土の圧密試験方法)によるものとする。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深度(m)	サンプリング種別

3) 三軸圧縮試験

※ 非圧密非排水(UU)三軸圧縮試験

※ (社)地盤工学会基準 JGS T521(非圧密非排水(UU)三軸圧縮試験方法)によるものとする。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深度(m)	サンプリング種別

(6) 化学的性質試験 PH

1) PH

※ 土の PH の測定を行う。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深度(m)	サンプリング種別

⑦ 原位置試験

1) 地下水位

※ 無水堀りにより、地下水位の測定を行う。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別

2) 現場透水試験

試験種別

※ 回復法

・ 注水法

試験位置

※ 図示

・

試験本数、深さは次の表によるものとする。

掘削位置番号	深さ(m)	想定土質

③ 孔内水平載荷試験

試験位置

※ 図示

試験本数、深さは次の表によるものとする。

掘削位置番号	深さ(m)	想定土質
No.1	4.5	シルトまじり砂

4) 平板載荷試験

試験孔の平面形状寸法

※ 1.8m×1.8m

荷重サイクル法

※ 1 サイクル法

・ 多サイクル法

※ (社)地盤工学会基準 JGS 1521(地盤の平板載荷試験方法)によるものとする。

試験位置

※ 図示

試験本数、深さは次の表による。

掘削位置番号	深さ(m)	最大荷重(t)	想定土質

⑧ 総合考察

- ⊗ 調査及び測定結果に基づく総合的検討及び考察。
- ⊗ 調査地周辺の地形・土質の検討
- ⊗ 各調査結果に基づく土質定数の設定
- ⊗ 各調査結果に基づく地盤の工学的性質の検討
- ⊗ 地盤の透水性の検討(現場透水試験や粒度試験等が実施されている場合)
- ⊗ 調査結果に基づく基礎形式の検討(具体的な計算を行うものでなく、基礎形式の適用に関する一般的な比較検討)
- ⊗ 設計・施工上の留意点に関する一般的検討
- ⊗ 転石・ズリ石及び玉石は、その岩質及びその大きさを想定
- 液状化の検討
- ・
- ・
- ・
- ・

⑨ 報告書その他

① 報告書

- ※ 提出図面及び報告書は、A4 判に製本及び電子データで提出する。
- ※ 提出部数は 2 部とする。
- ※ 中間報告は、ボーリング 1 孔完了毎に柱状図を提出する。

報告書の内容

- 調査の概要及び調査項目一覧表
- 調査位置附近見取り図及び敷地内ボーリング位置図(標高・調査深度を記入)
- 現況周辺古地図
- 調査及び測定結果に基づく総合的検討及び考察
- 土質柱状断面図及び土性図
- 地質想定断面図(彩色)
- その他監督員の指示する資料
- ・
- ・
- ・

② 記録写真

- ※ 調査地の状況、試験状況等を示す記録写真を提出する。
記録写真は、A4 判に製本及び電子データとし、枚数は監督員の指示による。

③ 土質標本

- ※ 土質標本は、容器に密封し、調査孔毎に蓋付き箱に入れて、1 組提出する。
- ※ 容器は、原則として直径 4.5cm 程度、高さ 9cm 程度のプラスチック製とする。
- ・
- ・

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-07.04.01(0)		凡例 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	2 委託		
	当世代	前世代	
発注区分	41 建設コンサル		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

地質調査業務費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
地質調査業務費					X2000
一般調査					Y2B01 レベル1
直接調査費	1	式			Y2B0101 レベル2
機械ボーリング(市場単価)	1	式			Y2B010101 レベル3
土質ボーリング(ノンコア)	1	式			Y2B01010101 レベル4
	51	m			
土質ボーリング(ノンコアボーリング) 孔径 φ 6 6 mm 粘性土・シルト	18	m			SSE001 00 単第0 -0001 表
土質ボーリング(ノンコアボーリング) 孔径 φ 6 6 mm 砂・砂質土	9	m			SSE001 00 単第0 -0002 表
土質ボーリング(ノンコアボーリング) 孔径 φ 6 6 mm 礫混じり土砂	24	m			SSE001 00 単第0 -0003 表
サウンディング及び原位置試験	1	式			Y2B010103 レベル3

地質調査業務費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
標準貫入試験					Y2B01010301レベル4
	51	回			
標準貫入試験 粘性土・シルト					SSE007 00
	18	回			単第0 -0004 表
標準貫入試験 砂・砂質土					SSE007 00
	9	回			単第0 -0005 表
標準貫入試験 礫混じり土砂					SSE007 00
	24	回			単第0 -0006 表
孔内水平載荷試験					Y2B01010302レベル4
	1	回			
孔内載荷試験 普通載荷(2.5MN/m2以下) GL-50m以内					SSE009 00
	1	回			単第0 -0007 表
室内土質試験					Y2B010110 レベル3
	1	式			
土の粒度試験					Y2B01011003レベル4
	3	試料			
室内土質試験 土の粒度試験(2),ふるい分析 試料0.5kg以下					TH003348 00
	3	試料			

地質調査業務費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
解析等調査	1	式			Y2B010114 レベル3
解析等調査	1	式			Y2B01011401レベル4
資料整理とりまとめ(直接人件費)直接調査費 土質ボーリング3本 岩盤ボーリング0本	1	業務			SSE052 00 単第0 -0008 表
直接経費	1	式			Y2B010117 レベル3
電子成果品作成費	1	式			Y2B01011701レベル4
電子成果品作成費(調査)	1	式			S2B01011503 00 単第0 -0009 表
国土地盤情報データベース検定費	1	式			Y2B01011704レベル4
国土地盤情報データベース検定費 地質調査技師 地質調査技師	1	式			S2B01011501 00 単第0 -0010 表
* * 直接調査費 * *					

地質調査業務費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
間接調査費					Z0001
運搬費					YZZ0101 レベル2
	1	式			
運搬費					YZZ010101 レベル3
	1	式			
運搬費					YZZ01010101 レベル4
	1	式			
資機材運搬					SE301 00
	1	日			単第0 -0011 表
特装車運搬（クローラ） 総運搬距離 1 0 0 m以下					SSE021 00
	2	t			単第0 -0012 表
準備費					YZZ0102 レベル2
	1	式			
準備費					YZZ010201 レベル3
	1	式			
準備費					YZZ01020101 レベル4
	1	式			

地質調査業務費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
準備及び跡片付け					SSE039 00
	1	業務			単第0 -0013 表
調査孔閉塞					SSE045 00
	3	箇所			単第0 -0014 表
仮設費					YZZ0103 レベル2
	1	式			
仮設費					YZZ010301 レベル3
	1	式			
足場設備					YZZ01030101レベル4
	1	式			
平坦足場 板材足場(高さ0.3m以下) Br深度50m以下					SSE031 00
	1	箇所			単第0 -0015 表
安全費					YZZ0104 レベル2
	1	式			
安全費					YZZ010401 レベル3
	1	式			
安全費					YZZ01040101レベル4
	1	式			

地質調査業務費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
環境保全 仮囲い	1	箇所			SSE043 00 単第0 -0016 表
施工管理費	1	式			YZZ0107 レベル2
施工管理費	1	式			YZZ010701 レベル3
施工管理費	1	式			YZZ01070101 レベル4
施工管理費(調査)	1	式			S2Z0107X2 00 単第0 -0017 表
* * 純調査費 * *					
諸経費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 業務価格 * *					
消費税等相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					

地質調査業務費 内訳表

頁0 -0008

[illegible]

解析等調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
解析等調査業務費					X4000
解析等調査					Y2D01 レベル1
	1	式			
直接調査費					Y2D0101 レベル2
	1	式			
解析等調査					Y2D010102 レベル3
	1	式			
解析等調査(機械ボーリング)					Y2D01010201 レベル4
	1	式			
資料整理とりまとめ(直接人件費) 土質ボーリング3本 岩盤ボーリング0本					SSA052 00
	1	業務			単第0 -0018 表
* * 直接調査費 * *					
* * 直接原価 * *					
その他原価 計算情報..... 対象額..... 率.....					

解析等調査業務費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
* * 間接原価 * *					
* * 業務原価 * *					
一般管理費等 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 業務価格 * *					
消費税等相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 解析等調査業務費 * *					
業務価格計					
消費税相当額計 計算情報..... 対象額..... 率.....					
業務費計					

施工単価表

頁0 -0011

土質ボーリング(ノンコアボーリング)

SSE001

單第0 -0001 表

孔径 $\varnothing 6.6 \text{ mm}$

粘性土・シルト

m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0012

土質ボーリング(ノンコアボーリング)

SSE001

單第0 -0002 表

孔径 $\varnothing 6.6 \text{ mm}$

砂・砂質土

m 当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0013

土質ボーリング(ノンコアボーリング)

SSE001

單第0 -0003 表

孔径 $\varnothing 6.6 \text{ mm}$

礫混じり土砂

m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

標準貫入試験 粘性土・シルト

SSE007

單第0 -0004 表

回 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0015

標準貫入試験
砂・砂質土

SSE007

單第0 -0005 表

回 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0016

標準貫入試験

SSE007

單第0 -0006 表

回 当り

礫混じり土砂

[illegible]

施工単価表

頁0 -0017

孔内載荷試験

SSE009

單第0 -0007 表

普通載荷(2.5MN/m²以下)

GL-50m以内

回 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0018

資料整理とりまとめ(直接人件費)直接調査費

SSE052

單第0 -0008 表

業務 当り

土質ボーリング3本

岩盤ボーリング0本

[illegible]

施工単価表

電子成果品作成費(調査)

S2B01011503

單第0 -0009 表

頁0 -0019

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0020

国土地盤情報データベース検定費
地質調査技師

S2B01011501

單第0 -0010 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

資機材運搬

SE301

單第0 -0011 表

1 日 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

特装車運搬（クローラ）

SSE021

單第0 -0012 表

総運搬距離 100m以下

t

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

準備及び跡片付け

SSE039

單第0 -0013 表

業務 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0024

調査孔閉塞

SSE045

單第0 -0014 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

平坦足場

SSE031

單第0 -0015 表

板材足場(高さ0.3m以下)

Br深度50m以下

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

環境保全
仮囲い

SSE043

單第0 -0016 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0027

施工管理費(調査)

S2Z0107X2

單第0 -0017 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0028

資料整理とりまとめ（直接人件費）
土質ボーリング3本

SSA052

岩盤ボーリング0本

單第0 -0018 表

業務 当り

[illegible]

